

株式会社パソナ東北創生 取組紹介



株式会社パソナ東北創生



2017.5

■ 交流促進事業

地域滞在型研修 — 震災・復興を学ぶコンテンツ例

震災・復興の現場を知る

【内容】

- ・語り部ツアーガイド、高校生ガイド
- ・被災エリア、工事エリアの案内、復興状況ガイド
- ・仮設住宅、復興公営住宅の視察・自治会長からの講話

【メインエリア】岩手県陸前高田市、釜石市、大槌町
宮城県女川町、南三陸町



復興から創生へ 生まれる新しい取り組み

【内容】

- ・避難道 コミもりづくりプロジェクト
- ・漁業体験(震災後の牡蠣のブランド化プロジェクト
湾内クルーズ、遊漁船 等)
- ・創生への取り組み(古民家・商店街のリノベーション、
子供の遊び場づくり、私設公園整備 等)

【メインエリア】岩手県陸前高田市、釜石市
宮城県気仙沼市、石巻市



防災・減災について リーダーシップとは何か 考える

【内容】

- ・避難所運営ワークショップ
- ・リーダーシップ育成「決断」ワークショップ
- ・震災の日追体験プログラム
(真っ暗な中、火をつけ食事をつくり、一晩明かす)
- ・地域の復興・創生のために立ち上がるリーダー、
イノベーターの話を聞くプログラム

【メインエリア】岩手県釜石市、大槌町



■ 交流促進事業

地域滞在型研修 ― 震災・復興を学ぶコンテンツ例 ① 震災・復興の現場を知る

震災・復興の現場を知る

【内容】

- ・語り部ツアーガイド、高校生ガイド
- ・被災エリア、工事エリアの案内、復興状況ガイド
- ・仮設住宅、復興公営住宅の視察・自治会長からの講話

【メインエリア】岩手県陸前高田市、釜石市、大槌町
宮城県女川町、南三陸町



【ポイント】

- 震災の日になにがあったのか、住民はどのような体験をしたのか、震災後から今日に至るまでにどのようなことがあり、どのような思いを抱いているのか、語り部による生の声をお届けします。
- 震災遺構や被災エリア、工事エリアへの案内を通して復興の最前線を感じていただきます。
- 仮設住宅、復興公営住宅の視察や自治会長からの講話を通して、地域社会の成り立ち、コミュニティづくりへの工夫や取り組みを学びます。



■ 交流促進事業

地域滞在型研修 ― 震災・復興を学ぶコンテンツ例 ②復興から創生へ 生まれる新しい取り組み

復興から創生へ
生まれる新しい取り組み

【内容】

- ・避難道 コミもりづくりプロジェクト
- ・漁業体験(震災後の牡蠣のブランド化プロジェクト
湾内クルーズ、遊漁船 等)
- ・創生への取り組み(古民家・商店街のリノベーション、
子供の遊び場づくり、私設公園整備 等)

【メインエリア】岩手県陸前高田市、釜石市
宮城県気仙沼市、石巻市



【ポイント】

- 仮設住宅のコミュニティ支援、子どもの遊び場づくりといった復興への取り組みから、未来の地球の在り方、エネルギーの使い方を考え作られた古民家エコハウスなど、様々な取り組みが生まれている地域のエネルギーを感じます。
- 避難道、コミもりづくりでは、自分たちが自ら森に避難道やコミュニティスペースを作り、未来の災害に備えた活動をお手伝いします。
- 漁業体験では、震災後販路が絶たれてしまった牡蠣のブランド化や加工商品づくりを図る 漁師の話や、養殖現場体験を通して、漁師が抱える課題と6次産業化への挑戦を学びます。



■ 交流促進事業

地域滞在型研修 ― 震災・復興を学ぶコンテンツ例 ③ 防災・減災 極限でのリーダーシップ

防災・減災 極限でのリーダーシップ

【内容】

- ・避難所運営ワークショップ
- ・リーダーシップ育成「決断」ワークショップ
- ・震災の日追体験プログラム
(真っ暗な中、火をつけ食事をつくり、一晩明かす)
- ・地域の復興・創生のために立ち上がるリーダー、
イノベーターの話を聞くプログラム

【メインエリア】岩手県釜石市、大槌町



【ポイント】

- 震災の日の追体験や避難所運営ワークショップを通して、生きること、仲間と助け合うこと、与え合うことを学びます。
- 「決断」ワークショップでは、地域が抱える生の復興課題を通して、自分ならどのように決断するか、それをどのように伝え、理解を得るのか、自分事として考える疑似体験を通してリーダーシップを学びます。
- 復興・創生に向かい立ち上がるリーダーやイノベーターの取り組みを知り、話を聞き、対話をする事で生き方、働き方、キャリアビジョンを見つめなおします。



■交流促進事業

地域滞在型研修 –地域の魅力体験コンテンツ例

歴史・文化・食

- ・半島トレッキング
- ・古民家 民泊
- ・郷土芸能 お祭り
- ・ストーリーツアー(鉄の歴史探訪・東北の民話神話)ー×フォトリップ
- ・酒蔵見学ツアー
- ・本物のごちそう郷土料理づくり (お餅、ひつまみ、だんご)



一次産業～六次産業 (農業・漁業・林業)

- ・農業体験 (菜の花畑から菜の花油を作ろう)
- ・地域の幻の名産『柿』の商品化プロジェクト
- ・猟師みならいツアー
- ・漁業体験 (わかめ漁師弟子入りプログラム、湾内クルーズ、牡蠣剥き手伝いツアー)
- ・林業×エネルギー (地産地消のエネルギーの在り方、エコ燃料作り)



震災復興・創生 (これまで・今・これから)

- ・震災遺構の視察、復興最前線ツアー (被災エリアの案内、復興状況ガイド、語り部による復興への想いを聞く)
- ・防災・減災スタディツアー (避難道、ゴミりづくりプロジェクト、震災の日追体験、避難所運営)
- ・古民家×馬 ホースセラピー・リーダーシップ育成プログラム
- ・仲見世商店街リノベーションプロジェクト



※記載のコンテンツは一例です。場所・内容はオーダーメイドでお作りします。

【宿泊先例】 民泊・民宿・ホテル・旅館 等

【人数】 各コンテンツ 10～40名

【地域】 岩手県県南(釜石市、陸前高田市、大船渡市、大槌町、一関市、花巻市、西和賀町、遠野市中心)
宮城県(気仙沼市、南三陸町、女川町、石巻市、登米市、丸森町、山元町、仙台市 中心)

■交流促進事業

短期地域滞在型研修 実施例①対象：若手社会人 大学生（2泊3日）

<イノベーターの生き様に触れ、自分の生き方や働き方を考える3日間>

復興の最前線で活躍するイノベーター・団体から「働くとは何か」、「仕事とは何か」について学び、主体的・自律的に課題解決に取り組む姿勢を養います。

| | 行程 | |
|-----|-------|---|
| 1日目 | 10:10 | JR一関駅集合 |
| | 11:30 | 陸前高田市視察 |
| | 13:00 | 漁師体験 牡蠣養殖場見学 |
| | 17:00 | 振り返り・ワークショップ |
| 2日目 | 9:00 | 現地のイノベーターによる講話 |
| | 13:00 | 広田半島へ移動 NPO法人SET 代表講話 |
| | 16:00 | 釜石市宝来館にて避難道・コミュニティスペースの視察・女将講話 |
| | 19:00 | 振り返り・ワークショップ |
| 3日目 | 8:30 | 一般社団法人 UnitedGreen エコハウスにて沢の散策、水汲み、 薪割り、火起こし体験 代表講話 |
| | 12:00 | 創作農家こすもすにて 希望の壁画・鐘、公園案内 ピザ作り体験 |
| | 14:00 | こすもす代表講話 振り返り・ワークショップ |
| | 17:30 | JR新花巻駅解散 |

ポイント

- 本で読む知識と、実際に目で見えるもの、体験を通してわかることの違いに焦点を当て、五感で感じることで自分事として社会課題をきっかけをつくる
- 0から1を作りだすイノベーターの話に触れ、用意されたものではなく、自律的に考え行動することを学ぶ
- リーダーシップとは何か、リーダーがどのように周りを巻き込み事を成したのかを学ぶ



■ 交流促進事業

短期地域滞在型研修 実施例① アンケートより

■ 20代 女性 入社前研修

今までは自分の持つ力なんかはちっぽけで、私が被災地の抱える問題を解決することなんてできないと思っていました。でも実際にたくさんの方の話を聞いて、頭がグチャグチャになるほどの情報を手にして、そこにあるのは被災地の問題ではなく日本の抱える問題なのだとわかりました。そこにあるのが日本全体の問題なのだとしたら、私が日本人として生きる限り必ず出来ることがたくさんある。そう確信しました。

今回の経験が何かのきっかけではじめて大きなものを生み出すであろう日まで、日々前にあるのものに懸命に向かいたいと思います。

■ 交流促進事業

短期地域滞在型研修 実施例②対象：管理職・役員クラス（1泊2日）

<4つのテーマ分野から新たな着想を得るコース別研修>

農業、漁業、林業それぞれの分野でICTや新技術を活用しイノベーションを生み出す地域の経営者とのセッションを通し、ビジネスの着想を得、協業アイデアを考えます。

| | 行程 |
|------|---|
| コース① | 12:00 昼食 大船渡屋台村 にて 大船渡越喜来湾周辺を視察 13:30 三陸とれたて市場 八木代表講和 14:30 CAS冷凍施設視察・体験 ・施設案内 ・持参した食品等をCAS冷凍 15:30 未来創造ワークセッション 17:00 冷凍したCAS冷凍品の取り出し |
| コース② | 11:30 長谷川建設 長谷川社長ご挨拶 12:30 村上製材所 視察・刻印体験 14:00 昼憩 箱根山テラスにて ・施設案内 15:00 長谷川社長 講和 ・意見交換 |
| 合流後 | 18:30 大船渡プラザホテルにて 研修振り返り、戦略立案プレゼン 2日目 釜石市 市長講話 高校生による被災地ガイド |



■ 交流促進事業

短期地域滞在型研修 実施例② アンケートより

■ 40代 男性 営業企画部門役員

改革的な事業者の話を直接見て聞くことは貴重な体験であり、
都会でなく釜石でそれを実現していること、
事業を拡大することに重きを置いているのではなく、
地域活性に力を注ぎ、事業としても成功させている姿が印象的。

また、社長の「転ぶなら前に転べ」という言葉が、大変印象に残っております。
ひとつの企業、一人の優秀な人材が社会に与える影響力について目の当りにしました。

自身の組織で人材を活かすこと、
社会貢献と事業の成功を両立することを目指します。

■ 交流促進事業

インバウンド受け入れ事例

- 日程 : 2016年1月24～27日 (3泊4日)
- 参加者 : 台湾 3名
- 体験内容 :
 - ・釜石市・大槌町の古民家にて民泊
 - ・陸前高田市の震災以降の視察
 - ・大槌湾にて漁業体験 (牡蠣の殻剥き)
 - ・農家レストランにて地元の食材を使ったピザ作り体験

- 日程 : 2016年10月1～2日 (1泊2日)
- 対象者 : 台湾・中国・タイ・アメリカ 4名
- 体験内容 :
 - ・釜石湾クルージング
 - ・尾崎半島トレッキング
 - ・三陸鉄道にて 釜石～大船渡周遊体験

アンケートより

- ・岩手で経験したことは台湾では体験できません。出会った方々もみんないい人ばかりでした。夜はみんなでいっしょにコタツを囲んで話をして、感激しました。
- ・ももとの日本の全体的な印象はきれいで、とても親切でした。今回の旅行では、わかめとりや茶道、ピザ作りなど、一生に一回しか体験できない体験ができ、たくさんの収穫がありました。
- ・今回の教育旅行の最大の収穫は顔と顔を見て直接日本人と接触したことでした。衣食住すべての方向から日本人の生活を体験しました。



震災後の支援に感謝をする地元の方



民泊での「こたつにみかん」に感動



釜石湾クルーズ



半島トレッキングの説明中



農家レストランにて



初めての雪に大興奮

■交流促進事業

岩手で「暮らす・働く・生きる」移住体験ツアー 2015年度・2016年度

岩手県4か所にて、2泊3日の移住体験ツアーを実施（各回参加者15名）
都内での説明会、交流会実施(3回、各回参加者30名程度)

岩手「暮らす・働く・生きる」移住体験ツアー vol.2

岩手で活躍する移住者をたずね、暮らしや文化の魅力を体感した昨年度のツアーに続き、今回は、働くことにフォーカス。あなたに合った岩手の仕事を探しに行きましょう！

あなたの意見をツアーをつくらう！ **参加費 無料**

「岩手で働く」を考えるワークショップ

岩手県で生きる人々の「暮らし」「仕事」が実際はどのようなか、興味はありませんか？
岩手と東京で2地域居住を実現するゲスト等が来場し、「いわて暮らしの本質」を探るトークをします。交流会も設けますので、岩手の食を楽しみながら情報をゲットしてくださいね♪ みなさまのご参加をお待ちしております！

【日程】11月1日(火)
【時間】19時30分～20時30分
※同会場でそのまま懇話会(有料)～21時30分まで

【場所】3×3 lab future
東京都千代田区大手町1-1-2
大手門タワー・JXビル1階

【定員】30名

【内容】・ツアー詳細の案内
および希望講座ワークショップ
・岩手在住者によるトークセッション
・交流会

楽しみながら、ぜひともツアーに関するご意見をください！



- 第1弾 三陸で海と山(第1弾終了)を感じる旅
 - 第2弾 地域に根ざした中小規模事業者をめぐる旅
 - 第3弾 フリーランスや起業家の働き方に触れる旅
 - 第4弾 多様な仕事、多様な職場 岩手のサラリーマンライフを知る旅
- このツアーは、岩手県「いわて定住・交流体験ツアー事業」として実施するものです。

●首都圏での説明会の様子
先輩移住者をお呼びして、説明会、交流会を行った。



●移住体験ツアーの様子
地元の方と一緒に郷土料理を作っている様子(釜石市)



費用 おひとり様 2泊3日 **20,000円** (税込) **定員** 各回15名(備行保証)
[東京発着の往復交通費、現地経費(貸切バス、宿泊、食事等)含む]

申込方法 ワークショップ&ツアーともに下記までお電話、ファックスまたはインターネットからお申込ください。
●ご旅行へのご参加申込に限り、行程のご案内や確認事項がございますので、詳細は弊社URL内の申込ページをご覧ください。
WEBサイトはこちらから <http://www.kenpokukanko.co.jp>

お申込お問合せ (株)岩手県北観光 TEL 019-641-8811 (担当:宮城) FAX 019-641-8844
Mail k-miyagi@iwate-kenpokubus.co.jp ツアーの詳細は、裏面をご覧ください。

■ なりわい・ライフスタイル創造支援

中長期滞在型研修-ローカルプラスin釜石 2016年2月～3月(2か月)

LOCAL PLUS in Kamaishi



暮らしのすべてが
キャリアになる。

釜石発、地域と自分が変わる
7週間のローカルステイ

復興×地方創生の最前線を体験！
新しい働き方実践！

2016.2.7 Sun. - 3.26 Sat.

プログラム概要

地域おこし導入研修+
実践フィールドワーク実習

参加費

参加費 無料
交通費補助 滞在費・活動費支給あり

12/14
Mon.

東京説明会
参加受付中！

LOCAL PLUS in Kamaishiとは

「暮らしのすべてがキャリアになる。」
2016年春、釜石は地域で地域づくりとキャリア作りを両立したい人のための7週間のローカルステイを実施します。
2～3月の約2週間、釜石の地域おこし団体や農家・地域の方々の活動する現場で、一緒に活動しながら地域おこしの「今」と、釜石との「暮らし」を体験し、今後のキャリアを考える期間になります。
地域に新たな価値や未来を創造するに、そして自分自身の新しい働き方（ローカルキャリア）を切り開くに、期間中も自分にもプラスになる経験を、同じ思いでぜひ仲間と一緒に釜石から始めませんか？

プログラム内容



— 家 フィールドワーク先一覧 —



農作業家こすむす

地域の名産
甲子産産物デュース！
～地産地消農家レストラン
と食から地域おこし～



釜石リージョナルコー
ディネーター (宮北野)

地域に新たな
コミュニティ提案
～暮らしやすいこれからの
まちづくり～



KAMARQ株式会社

地域連携プロジェクト
「海まん」の6次産業化を
ブランディング！
～食のブランド化を推進～



×三陸聯合

民と共に生活する暮らし
～伝統文化の再生と新しい
カタチ～



初三陸ひとつな自然学校

釜石で活躍する人の魅力
を発信してファンを増やす！
～地域のPR担当に～



釜石市役所

まちとひとの「橋」を
再構築せよ！
～釜石市場所で5年目イ
ベントプロデュース～

参加の流れ

STEP1: 12月上旬～12月下旬
説明会参加・エントリー受付期間

■東京説明会（東京）
12/14（月）19:00～21:00
Small Design Center
東京都中央区日本橋箱根町27-11-2F
※Facebookページより
イベント詳細をご確認ください

■個別相談会（東京）
12/18（金）21（月）18:00～20:00
株式会社パソナ地下1F

STEP2: 12月中旬～1月中旬
面談～フィールドワーク先決定

【こんな人におすすめ！】

- ・地域おこしや地域づくりの事業に興味があり、現場で学びたい方
- ・釜石の地域経済やフィールドを活用し、新たな事業・仕事を
生み出したい方
- ・フィールドワーク時に活かせるスキルを身につけたい方
- ・活動経験で成果を出すための活動補助費支給あり
- ・フィールドワーク中の活動のための準備費
（交通費）
- 【その他特長】
- 年齢等関係なく
- 釜石市までの交通費支給あり（1万円上限）
- 実践研修で成果を出すための活動補助費支給あり
- フィールドワーク中の活動のための準備費
- 滞在中の住居提供
- プログラム中は「現地」ディネーターが日々の活動の
メンター・やりポートを派遣します。

※本事業は2015年度釜石市事業
「定住環境がよいし、魅力体験事業」として実施しています。

■お問い合わせ 一般社団法人HUB三陸
Facebookページ: In Kamaishi
Mail: localplus@kamacareer.sakura.ne.jp

WEBページ: 近日公開予定
担当: 中村・井筒

プログラム概要

Week1～基礎研修～

ローカルへの最初の一步を学ぶ

地域で活動する際にまず気になるのが「地域への入り方」。

釜石市は2011年の東日本大震災からの復興にむけ多くの課題へのアプローチや持続的な地域づくり、先進的な地域コーディネーター活動を行ってきました。

プログラム最初の一週間ではその培ってきたノウハウや「復興×地方創生のリアル」を講義や体験を踏まえて体系的にお伝えします。

講師はすべて現地で活躍する人たち、地域づくりの最前線で活躍する人々が行うので他の参加者や地域の人々との繋がりを作ります。



Week2～7 ～フィールドワーク～

いざ実践！地域のアイデアを形にする

基礎研修後はそれぞれのフィールドワーク先に入り、各自の地域課題に取り組みます。現地のリーダー達だけでなく地域の人々の想いや声を受け、想いを実現するために自分のスキルをどう活かし掛け合わせていくかが力の見せ所です。担当コーディネーターや受け入れ先のスタッフと連携で挑戦に対してのバックアップ体制は万全です。



Stay ～7週間のローカルステイ～

あなたのチャレンジをや日常生活をサポートします

7週間のプログラム中は活動地域の古民家や仮設住宅に滞在し現地での生活を体験します。地元で暮らす人々との地域に根付いた交流ができることはもちろん、同じように外から釜石で活動している人も多く滞在しているのでお互いにサポートし合いながら交流や釜石ならではの観光・体験ができます。



■ なりわい・ライフスタイル創造支援

岩手県釜石市名産「甲子柿」ブランドプロジェクト

地域資源開発による
事業・なりわい創造支援

釜石市甲子地区活性化協議会と協働しながら名産「甲子柿」を地域に広め、商品化、首都圏への流通を促進し地域ブランドを作り上げることを目指したプロジェクト

●これまでの活動

- ・地元学、まち歩きワークショップ参加
- ・甲子柿生産地域マップ作成、発表会
- ・釜石でのP Rイベントに参加
- ・首都圏での交流イベント開催
- ・首都圏からのスタディーツアーの実施
- ・首都圏での販路開拓



「甲子地区活性化推進委員会東京支部」の結成（12月）

甲子地区を今後も応援したいという思いを持った
これまでのスタディツアーの参加者を中心に、
有志コミュニティ「甲子地区活性化推進委員会東京支部」
を結成。

- メンバー：35名
- ・スタディツアーの参加者
- ・東北出身者
- ・首都圏大学生
- ・社会人

活動内容

- ・現地へのスタディツアー企画・運営
- ・生産者をお呼びした首都圏での発信イベント開催
- ・甲子柿の発信・販路開拓



イベント開催

「パーシモンズGWツアー」

- 参加者 14名
- ・都内在住学生・社会人



* 1日目 *

- ・釜石視察
- ・講話
- ・チーズケーキ作り
- ・BBQ

* 2日目 *

- ・甲子柿生産地視察
- ・ワークショップ
- ・発表会



参加者の声

- ・みなさんいい人ばかりで、釜石が本当に好きになりました。
- ・人柄として本当に温かい方ばかりで癒された。また釜石のためになりたいという想いを持った方々が本当に多くて、逆に元気を頂いた。
- ・東京から魅力を伝えていきたい。

スムージー販売開始

社内カフェにて
甲子柿を使用したスムージーが販売開始！



パシモkitchen第3段
～スムージー試飲会イベント～

- ・甲子地区活性化協議会の方にお越しいただき交流
- ・販売開始にあたり、キャッチコピーの考案ワークショップ



■ なりわい・ライフスタイル創造支援

釜石ローカルベンチャープログラム 起業型地域おこし協力隊制度活用 2016年10月～



Kamaishi Local Venture 始動!

第一弾イベント!
**シェアリングエコノミー×
 地域発オープンイノベーションを考える**



(一社)Mind代表理事/
 (有)生中館 女将 船崎昭子氏



釜石地方森林組合
 参事 高橋幸男氏



(一社)三陸ひとづなび日語学校
 代表理事 伊藤隆氏

◆キーノートスピーチ Airbnb日本法人(予定)

2016年12月1日(木)19:00～
theC 東京都千代田区内神田1-15-10

詳細は裏面へ!
 To Be Continued...

■「釜石ローカルベンチャープログラム」とは

東日本大震災以降、釜石市は「オープンシティ」を合言葉に、多様な企業・団体との連携によって単なる借財ではない、新しい復興まちづくりを進めています。このたび、更なるイノベーションを生み出すためのエンジンとして、2016年12月より広域連携によるローカルベンチャー事業をスタートいたします。

「ローカルベンチャー」とは、地域にある、まだ活用されていない資源を
 価値に変え、地域に新たな経済や暮らしの豊かさを創造するビジネスのこと。
 釜石をフィールドに、本気でこれからの未来づくりを一緒に行いませんか?



■キックオフイベント&説明会 2016年12月1日(木)19:00

2016年10月民泊大手AirBnbと釜石市が日本で初協定を結びました。(この記事は必要あり) 業種や業界・セクターを超えて価値を「共有(シェア)」していくこと、それによって地域がイノベーションを起こしてより良い経済のモデルをつくっていく挑戦が釜石で始まっています! その仲間と一緒に成功しませんか? 釜石からどんな挑戦が生まれるのか、ワクワクドキドキしながらご参加ください!
 [場所] theC 東京都千代田区内神田1-15-10
 [対象] オープンイノベーション、新規事業創出、新しい働き方に関心のある方
 [イベント詳細ページ] <https://www.facebook.com/events/556451964564635/>
 [お申込み] 右記QRコードよりお申込みください



■フィールドワーク 2016年12月17日(土)～18日(日)

実際に釜石市に足を運んで、地域特性や産業テーマ、事業創出に触れます。またメンターとなる地域の事業者との出会いを通じて、地域で暮らす・起業するイメージを膨らませる1泊2日の現地プログラムです。

[日時] 12月17日(土)～18日(日)
 [対象] 釜石でのローカルベンチャーに
 関心のある方、挑戦してみたい方
 [参加費] 1万円
 ※ 現地までの交通費補助(上限3万円)
 [お申込み] 右記QRコードよりお申込みください



- [訪問先(予定)]
- フィールド①: 伊見世商店街
 ～リノベーションの現場～
- フィールド②: 釜石大輪地方森林組合
 ～新しい価値創造の現場～
- フィールド③: 創作農家こずもす
 ～地域資源ブランド化の現場～

■お問い合わせ
 釜石シティプロモーション推進委員会 ローカルベンチャー事務局
 Mail: info.kamaishiv@gmail.com

新たな勤務形態「プチ勤務」の導入

- 労働力不足の解消に向けて、これまで時間の制約があり働きたくても働くことができなかった主婦層や高齢者に活躍いただき、人手不足の解消を図る新たな勤務形態「プチ勤務」（超短時間勤務）の地域内への導入を図る。
- (株)リクルートジョブズ、沿岸広域振興局、釜石公共職業安定所、釜石市、大槌町が連携し、地域内の事業所の労働力不足の解消を目指す。

経営者・人事担当者向け
勉強会のお知らせ

主婦やシニアが働きやすい
「プチ勤務」で
潜在労働力を掘り起こす
その効果と創出のポイント

[2016年9月23日(金)]

労働力不足を解消し、業務の幅を広げたいと悩む企業様へ、働き方改革の推進を支援する「プチ勤務」の導入を支援する勉強会を開催いたします。本日は、働き方改革の推進を支援する「プチ勤務」の導入を支援する勉強会を開催いたします。本日は、働き方改革の推進を支援する「プチ勤務」の導入を支援する勉強会を開催いたします。

釜石会場 平成28年9月23日(金)9:30～11:30 (9:45～開会)
チームラボ・釜石PT
(釜石情報交流センター内/釜石市大町1-1-10)
〒985-0801 釜石市大町1-1-10

大槌会場 平成28年9月23日(金)14:00～16:00 (14:15～開会)
大槌町役場3階大会議室 (大槌町上町1-3)
〒985-0801 大槌町上町1-3

【講師】 株式会社リクルートジョブズ ジョブズリサーチセンター
センター長 宇佐川 邦子氏 **JBRC**

【参加費】 無料
【申込み】 趣意の申込書をFAXまたはメール送信 ※9/16(金)締切
【問合せ】 釜石市 経済企画部 総合政策課 (中村)
TEL 0193-25-2702



人材マッチング事業の展開

- 保育園や幼稚園への入園を控えている子どもを持つ主婦層らを主なターゲットとし、眠れる労働力の活用を目指す。
- 子どもの教育費のシミュレーションなど、生活に直結した役立つ内容をファイナンシャルプランナーから学び、簡単なライフプランを考えるマネー講座の開催し、就労意欲の醸成を図る。
- 子育て中の母親と企業とのマッチングを図る「子育て・お仕事」大相談会を開催。(保育園・幼稚園への入園相談、子どもの健康相談、専門家によるキャリア相談を実施するなど、育児・仕事・キャリアに役立つ内容に工夫)

平成29年4月入園希望者向け

参加無料

ママのための
「子育て・お仕事」
大相談会

※子ども課による各園・新制度のご説明
※退職診断+主婦歓迎の企業・お仕事紹介
※育児・仕事・キャリアに役立つ
サービスを多数ご用意しています！

日時 **10月27日(木)** 午前の部 10:30～12:00
午後の部 13:30～15:00

会場 **イオン釜石 2Fイベントスペース**

対象 0～5歳の子どものご家庭

お申込み 先着30名
QRコードまたは下記URLよりお申込みください
<http://maple.skiokk.jp/>
お電話にてご参加ください

無料
託児
あり

【問合せ】 釜石市 経済企画部 総合政策課 (中村)
TEL 0193-25-2702 / FAX 0193-25-2686

平成29年4月入園希望者向け

参加無料

入園準備セミナー！！
先輩ママによる幼稚園・保育園
アドバイス座談会

✓ 利用者から見た、各園の特徴とは？
✓ 入園後に初めてわかったことは？
✓ 入園に向けて準備できることは？

市役所子ども課による
「知っておきたい各園の違いや制度」
の説明、質疑応答も行います。

日時 **9月25日(日)** 14:00～15:30
10月18日(火) 10:30～12:00

会場 **イオン釜石 タウンホール**

対象 0～5歳の子どものご家庭

申込 先着30名 右記URLより申込み

無料
託児
あり

【問合せ】 釜石市 経済企画部 総合政策課 (中村)
TEL 0193-25-2702 / FAX 0193-25-2686

設立の想い

創生の場、東北。
-ヒトが、想いが、モノが、事業が。
新しい価値が生み出され、共に創られていく。

東日本大震災から4年。多くの方々が東北を行き交い、心を揺さぶられ、生きる意味や働くことの意義を見出し、そこから果敢に課題に挑戦する人材が東北で生み出されています。

また、復興にかかわる取り組みを通して新たな事業モデルや新しいニーズに対応した商品・サービスが生まれ、現地に眠る多くの地域資源に光が当たり始めています。

震災から5年目を迎える今こそ、
東北で人が成長し自らの可能性を広げる機会を創り、
地域の課題を解決する事業を共に生み出し、
そうして、人と事業がポジティブな連鎖で成長していく未来をつくりたい。

それが当社設立の想いです。

会社概要

| | |
|----------------|--|
| 会社名 | 株式会社パソナ東北創生 |
| 本社所在地 東京事務所 | 岩手県釜石市甲子町5-72 東京都千代田区大手町2-6-4 |
| 株主構成 | 株式会社パソナグループ キャプラン株式会社 |
| 設立 | 2015年4月1日 |
| 役員構成 | 代表取締役 戸塚 絵梨子 取締役 石倉 佳那子 取締役 武井 伸夫 監査役 渡辺 佳昭 |
| 資本金等 | 合計 20百万円 |
| 事業内容 | 研修ツーリズム事業 地域開発支援事業 等 |